

日本学生支援機構（学部予約採用候補者）
奨学金説明会

はじめに

奨学金に関する連絡

本日の提出書類について内容確認が必要となった場合、また、採用後の連絡事項などは、原則、うりぼーねっとに登録された学籍番号メールアドレス（@stu.kobe-u.ac.jp）や学生携帯電話に連絡します。

＜神戸大学 学務部学生支援課 奨学支援グループ＞

E-mail : stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp

電話番号 : 078-803-5430 / 5433

あなた自身が、奨学生であることの自覚を持って、
ご自身で速やかにご対応ください。

奨学支援グループの場所



学生センター内 奨学支援グループ
窓口受付時間：8：30～17：15
(土日祝日除く)

奨学生としての留意事項

※特に重要な手続きについて案内します。

スカラネットパーソナルへの新規登録

ご自身の奨学金に関する情報を、インターネット上で閲覧したり、各種手続きができる情報システムです。

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

貸与・給付中の方用

ご登録・ご利用ください

スカラネット・パーソナル

<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>

スカラネット・パーソナルとは

スカラネット・パーソナル（スカラPS）とは、日本学生支援機構の奨学生の方が、ご自身の奨学生番号、貸与・給付期間、月額、総額（予定）、振込口座情報等、奨学金に関する情報をインターネット上で閲覧することができる情報システムです。パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末からも利用可能です。

スカラPSの利用方法

奨学金の状況を確認

いつまで奨学金を利用できる？ 毎月の金額を知りたい 登録情報を確認したい 振込口座を確認したい

奨学金の継続手続き

以下の手続きは「スカラPS」を利用して行います。

〈貸与奨学金・給付奨学金とも必要〉
奨学金継続願提出（毎年12月～2月頃）

〈給付奨学金のみ必要〉
在籍報告（毎年4月・10月）
※春採用は10月、秋採用は翌年4月初旬

採用書類送付時に案内を同封しますので、**必ず登録してください！**

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット・パーソナル

ユーザIDとパスワードの登録をしている方

ユーザID： 半角英数

パスワード：

ログイン

まだユーザIDとパスワードの登録をしていない方

初めてスカラネットPSに登録する方は、「新規登録」ボタンを押してください。

新規登録

ユーザIDまたはパスワードを忘れた方は、下の「ユーザID・パスワードを忘れた場合」ボタンを押してください。

ユーザID・パスワードを忘れた場合

給付奨学生

(1) 在籍報告

給付奨学金の受給にあたり、給付奨学生は、大学に在籍していること及び生計維持者等を、**毎年4月・10月の2回（採用年度は10月のみ）**スカラネットパーソナルより報告（入力）する必要があります。

※休学等で奨学金が休止中の場合も、報告する必要があります。

大学が定めた期日までに報告がない場合は、給付奨学金の振込みが止まります。

(2) -1 適格認定 (家計)

毎年4月に行う在籍報告（採用年度は、「進学届」または「スカラネット申込」）で報告された**奨学生本人及び生計維持者の経済状況**（マイナンバーにより取得した所得等情報及び申告された資産額）に基づき、**支援区分の見直し**を行われます。

それにより、10月以降の1年間（家計急変事由が適用されている場合は、支給開始月から6か月経過後、3か月ごと）の支援区分を決定します。

支給額【国公立の場合】

学校種別・世帯の 所得金額に基づく区分		国 公 立		授業料等減免
		自宅通学	自宅外通学	
大学・短期大学・ 専修学校（専門課程）	第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	満額の支援
	第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	満額の2/3の支援
	第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	満額の1/3の支援
	第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	7,300円 (8,400円)	16,700円	満額の1/4の支援

令和6年度より→

※適格認定（家計）見直しにより、「支援区分外」となる場合もあります。

(2) - 2 適格認定 (学業)

大学はあなたの学修状況や生活状況を、定期的に機構へ報告します。

毎年度末に、大学から報告した学業成績の判定結果に基づき、**給付奨学金継続の可否**を下記の4つの認定区分で判定します。

※状況によっては支給済み奨学金の返還を求められることもあります。

※給付奨学金が『廃止』等となった場合は、授業料減免も打ち切られます。

適格認定の基準および区分

廃止	給付奨学生の資格を失います。 <ul style="list-style-type: none">・修業年限で卒業できないことが確定した場合・修得単位数の合計数が、標準単位数の5割以下 など
停止	給付奨学金の支給が中断します。
警告	給付奨学金の支給を継続します 成績が向上せず、次回の適格認定で再度「警告」の認定となった場合は、「廃止」となります。 <ul style="list-style-type: none">・修得単位数の合計数が、標準単位数の6割以下・GPA(平均成績) が同学部同学年等で下位4分の1 など
継続	給付奨学金の交付を継続します

貸与奨学生

(1) 貸与奨学金「継続願」

貸与奨学生は、翌年度も貸与奨学金の継続を希望するかどうか、**毎年12月中旬～1月末頃（年1回）**、スカラネットパーソナルより届け出る（入力する）必要があります。入力時には、直近1年間のあなたの収支報告が必要となります。

※継続を希望しても、適格認定（学業）等の判定により、翌年度以降の貸与奨学金が継続できない場合もあります。

※大学が定めた期日までに届出がない場合は、貸与奨学金は「廃止」となり奨学生の資格を失います。

(2) 適格認定

大学はあなたの学修状況や生活状況を、定期的に機構へ報告します。

あなたが入力した「継続願」の内容と、学業成績等を総合的に審査し、適格基準に基づき貸与奨学金継続の可否等を判断します。

適格認定の区分

廃止	奨学生としての身分を失います ・卒業延期が確定またはその可能性が極めて高い場合 ・当年度の修得単位数が極めて少ない場合 など
停止	奨学金の交付が止まります ・成績等が回復した場合は、届出により奨学金の交付を復活することがあります
警告	学業成績の向上に期待します ・成績が回復しない場合は、奨学金の交付が停止される、又は、奨学生の資格を失うことがあります
継続	貸与奨学金の交付を継続します

支給中の異動（身分の変動・振込条件の変更）

奨学生の身分・情報等に、何らかの変動があることを「異動」といいます。

異動の主な項目

- ▶ 改氏名
- ▶ 住所変更
- ▶ 休止（休学）
- ▶ 月額変更（貸与のみ）
- ▶ 通学形態の変更（給付のみ：自宅外通学⇔自宅通学）
- ▶ 辞退

などがあります。

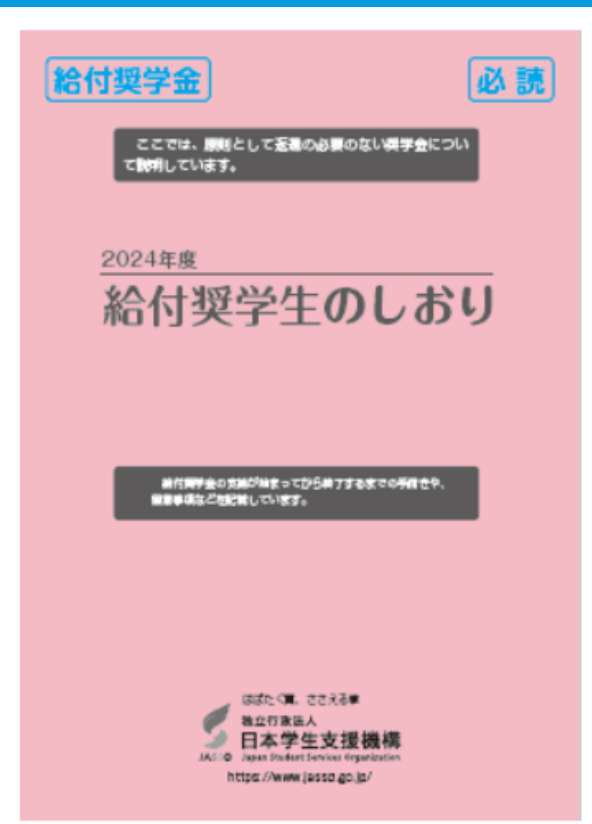
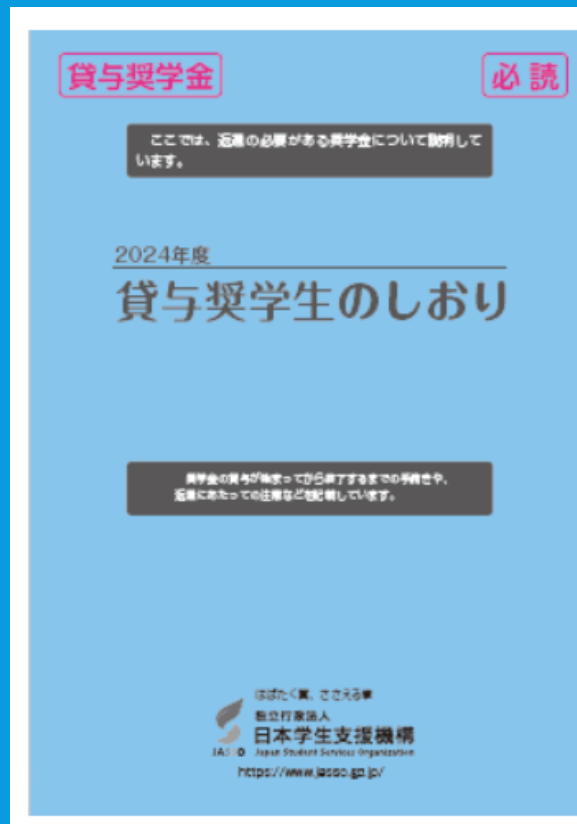
異動が生じる場合は、機構への届出が必要です。

※機構への届出が遅れると、奨学金返金等の不利益が生じる場合があります。

奨学生のしおりについて

「奨学生のしおり」の内容をしっかりと確認し、奨学金制度の十分に理解し、奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。

日本学生支援機構HP（電子書籍）よりダウンロードしてください。



給付候補者の入学料・授業料減免について

入学手続き時に、免除申請をした方

入学金及び前期分授業料の納付は、授業料等減免決定（5月下旬）まで猶予されます。

入学手続き時に、免除申請をしていない方

前期分授業料は、4月下旬に納付していただきます。

減免対象者と認定された後（5月下旬以降）に、減免額分を返還します。

今後の手続きの流れについて

書類の提出

進学届の入力に必要な「ID・パスワード」を交付

進学届の入力

初回振込日（奨学金支給日）

採用関係書類の郵送

- ・奨学生証
- ・返還誓約書等（貸与奨学生のみ）

返還誓約書等の提出
(貸与奨学生のみ)

奨学生として正式採用

5月採用

入力日
4月9日～4月24日

5月16日

5月下旬

6月20日までに提出

6月採用

入力日
4月25日～5月23日

6月11日

6月下旬

7月22日までに提出

書類の提出

進学届の入力

初回振込日（奨学金支給日）

採用関係書類の郵送

- ・奨学生証
- ・返還誓約書等（貸与奨学生のみ）

返還誓約書等の提出
（貸与奨学生のみ）

奨学生として正式採用

採用通知よりも先に、初回振込があります。
「自宅外通学」を選択した場合も「自宅通学」の金額が振込まれ、機構の審査により「自宅外通学」が認められた後、4月に遡って差額が振込まれます。

大学の指定する期日までに必ず提出してください。

提出が大幅に遅れると、「採用取消」となり、振込済みの奨学金を全額返還となる場合があります。

本日の提出書類の確認

日本学生支援機構予約採用 提出書類チェック票



学籍番号	
氏名	

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金 希望する	貸与奨学金			
		第1希望 併用貸与	第2希望 第一種奨学金	第3希望 第二種奨学金	入学時特別増額 貸与奨学金 希望する
選考結果	給付奨学金	貸与奨学金			
	候補者決定 支援区分：第1区分	併用貸与(併)	第一種奨学金	第二種奨学金	
		候補者決定	—	—	

<本人チェック欄>

不備なく書類を持参している場合は○、該当しない場合は斜線（/）を入れてください

いずれかが「候補者決定」の場合

	提出書類	給付奨学金 採用候補者	貸与奨学金 採用候補者	本人 チェック欄	大学 チェック欄
①	令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】	○	○		
②	自宅外通学であることの証明書類	△ 自宅外 通学者のみ			
	(1) 通学形態変更届（様式35） (2) 賃貸借契約書又は入寮許可書等のコピー				
③	決定通知表面の交付書類コードが、B又はEの方は確認してください。 「国の教育ローン申込：【必要】」と印字がある方で、 入学時特別増額貸与奨学金を利用する方 ※辞退する場合は提出不要 →採用候補者決定通知裏面3-(1)「辞退」 に印を入れてください	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 入学時特別増額貸与奨学金 (有利子) 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込： 必要 </div>			
	(1) 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書	△ 該当者のみ			
	(2) 融資できない旨を記載した公庫の通知文のコピー (宛名面と通知面の両方)				
④	レターバックライト 1通 (採用関係書類の送付用)	○	○		

① 令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知 (全員)

【提出用】

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知 **【提出用】**

令和5年10月16日

交付書類コード = F

※コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号	A000001	
氏名	学校用 見本 (カ*ワカワカ ミナ)		様
	* 99999901	#59999999	

独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金	貸与奨学金			入学時特別増額貸与奨学金
		第1希望	第2希望	第3希望	
	希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する
選考結果	給付奨学金	貸与奨学金			
	候補者決定 支援区分：第I区分	併用貸与(※1)	第一種奨学金	第二種奨学金	
		候補者決定	—	—	
要件確認	国籍・在留資格等	○	○	—	—
	家計に関する基準	○	○	—	—
	学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
	高卒後の期間、高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
	必要書類の提出(※2)	○	○	—	—

- ※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
- ※2 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む。、「—」は申込時に希望していない(もしくは希望順位の高い種別が決定した)ため未判定であることを表します。
- ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

		給付奨学金 (注1)	第一種奨学金 (無利子) (注3)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件		支援区分：第I区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要
申込時の 選択内容 (注2)	貸与額	*****	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	*****	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度(注4)	*****	機関保証	人的保証	人的保証
	利率の算定方法	*****	*****	利率見直し方式	利率見直し方式

【本人保管用】

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知 **【本人保管用】**

令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号	A000001	
氏名	学校用 見本 (カ マカサ ミホ)		様

独立行政法人
日本学生支援機構

(印影印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
 ついては、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。）し、定められた期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

記

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金 希望する	貸与奨学金			
		第1希望 併用貸与	第2希望 第一種奨学金	第3希望 第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金 希望する

選考結果	給付奨学金 候補者決定 支援区分：第1区分	貸与奨学金		
		併用貸与(※1) 候補者決定	第一種奨学金 —	第二種奨学金 —
要件確認	○	○	—	—
国籍・在留資格等	○	○	—	—
家計に関する基準	○	○	—	—
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
必要書類の提出(※2)	○	○	—	—

- ※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
- ※2 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は該当（必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む。）、「—」は申込時に希望していない（もしくは希望順位の高い種類が決定した）ため未判定であることを表します。
- ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書（該当者のみ）等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

	給付奨学金(注1)	第一種奨学金 (無利子)(注3)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分：第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：不要
申込時の 選択内容 (注2)	貸与額	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度(注4)	機関保証	人的保証	人的保証
	利率の算定方法		利率見直し方式	利率見直し方式

- 注1 給付奨学金の月額額は「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者（国・公立）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により異なります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年10月に見直されます。
- 注2 給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人で生活保護世帯の自宅から通学する場合、又は、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する場合の給付奨学金の月額は、月額表「給付奨学生採用候補者のしおり」参照）に記載の（ ）内の金額となります。
- 注3 第一種奨学金の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者（国・公立）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定まる金額（貸与奨学生採用候補者のしおり）参照）の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません（「最高月額以外の月額」からの選択となります）。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。
- 注4 海外大学進学者は「機関保証制度」「人的保証制度」の両方への加入が必須です。

進学届提出用パスワード（半角英数字10桁）

ABCDE98765

※ 進学後の手続きに必要なになります。

進学後記入欄の確認

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】				
※海外大学進学者は使用しません。				
学籍番号				
学部・学科				
(フリガナ)				
氏名				
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒		
	電話番号	-	-	携帯 電話 番号
		-	-	-

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
 (入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。
 ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

② 自宅外通学であることの証明書類 (給付候補者で自宅外通学者のみ)

(1) 通学形態変更届 (様式35)

【給付様式35】

通学形態変更届(自宅外通学)

給付(新制度)

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、下記のとおり通学形態変更を願います。
なお、申請書で確認し、同意した内容から、通学形態変更に係る給付月額及び第一種奨学金貸与月額の変更について、確認書並びに日本学生支援機構様へ定める取扱いに賛同することを要します。

黒い太枠内には正確に、もれなく記入し、学校に提出してください。未記入の場合は不備返還となります。

提出日	西暦 20 年 月 日
生年月日	西暦 年 月 日
学籍番号	
フリガナ	
氏名(自署)	

大学	学部	学科(科)	年次
姫路大学		研究科	
学校	課程		

奨学生番号(注1)	又は	採用候補者決定通知登録番号(注1・注2)	通学開始日(注1)
5 2 0			月 日

(2) 賃貸借契約書または入寮許可証のコピー

賃貸借契約書

賃貸人 神戸不動産株式会社 (所在地: 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1) (以下「甲」という) と
借借人 大学太郎 (住所: 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 S-3) (以下「乙」という) は、本物件 (第 1 条にて定義する) の賃貸借に関し、以下のとおり賃貸借契約 (以下「本契約」という) を締結する。

第 1 条 (本契約の目的)

甲は、次の物件 (以下「本物件」という) を賃貸借の目的物として乙に賃貸する。

所在地 兵庫県神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2 - 1

名称 メソンド神戸

構造 RC 造 地上 4 階建

賃貸部分 地上 1 階 101 号室

間取り ワンルーム

床面積 20 m²

- ・ 貸主、借主、入居者 (あなた) の氏名
- ・ 物件 (下宿先) の住所
- ・ 家賃が発生している期間 (契約期間、契約開始日・終了日、入居日等)
- ・ 自動更新の条件 (もしあれば)
- ・ 家賃の発生 (賃料)

第 2 条 (契約期間)

本契約の期間は、以下のとおりとする。

2023 年 03 月 27 日から 2 年間

甲または乙が本契約満了前の以下の期間までに相手方に対して書面にて更新しない旨の通知をしない限り、本契約は 2 年間更新され、以後も同様とする。

期間満了の 3 ヶ月前

第 3 条 (賃料)

1. 本物件の賃料は、1 ヶ月金 45,000 円とする。
2. 乙は、共用部分の維持管理に必要な光熱費、清掃費等に充てるため、共益費として金 3,000 円を甲に支払うものとする。

第 4 条 (入居者)

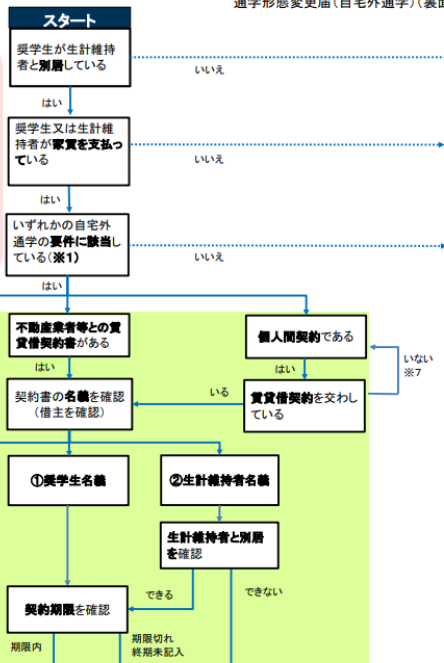
次に該当する場合は、借借人に「居住証明書」の発行を依頼し、賃貸借契約書とともに提出

自宅外通学要件確認チャート

通学形態変更届(自宅外通学)(裏面)

※1. 自宅外通学の要件

- ① 実家(生計維持者いずれもの居住地)から大学等までの距離が片道60キロメートル以上(目安)
- ② 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上(目安)
- ③ 実家から大学等までの通学費が月1万円以上(目安)
- ④ 実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下(目安)
- ⑤ その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合



(注1) 奨学生
採用候補
(注2) 4月より選
定3月中旬迄
本様式に

■ 通学形
自宅外
及
自宅外
実
家賃・寮
自
生計維持者
生計維持者
主に通
キャン
自宅

⑤その他やむを得ない特別な事情を述
1. ①~④に
場合は必
関連がな
られませ
2. 入寮義務
⑤の詳細
と記入し

(注3) 自宅外通

対

③ 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書等

(表面の交付書類コードがB又はEで、
国の教育ローンの申込：**必要**と印字のある方)

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知 **[提出用]**

令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号		A000001
氏名	学校用 見本 (ガ'ワ'ワ'ワ'ミ'ン)		様
	* 99999901	#59999999	

交付書類コード = E

※コードにより交付される書類が異なります。
封筒の裏面にてご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

表面の交付書類コードが、B又はEの方は、確認してください

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金	貸与奨学金			
		第1希望	第2希望	第3希望	入学時特別増額貸与奨学金
希望する	希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果	給付奨学金	貸与奨学金		
		併用貸与(※1)	第一種奨学金	第二種奨学金
候補者決定 支援区分：第I区分	候補者決定	候補者決定	—	—
要件確認				
国籍・在留資格等	○	○	—	—
家計に関する基準	○	○	—	—
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
高卒後の期間、高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
必要書類の提出(※3)	○	○	—	—

入学時特別増額貸与奨学金
(有利子)

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：
必要

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
 ※2 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む)、「—」は申込時に希望していない(もしくは希望順位の高い種類が決定した)ため未判定であることを表します。
 ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

	給付奨学金 (※1)	第一種奨学金 (無利子) (※2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分：第I区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込： 必要
申込時の 選択内容	貸与額	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式

④レターパックライト (全員)

TO欄：

採用関係書類（奨学生証・返還誓約書等）を送付しますので、確実に受取れる宛先（※自宅外通学者は「実家」を推奨）を記入

The image shows the front of a Letter Pack Light envelope form. At the top, there are six small boxes for zip codes. Below that is the 'To' (お届け先) section with fields for Address, Name, and Telephone Number. The 'From' (ご依頼主) section is below, with fields for Name and Telephone Number. A yellow box with an arrow points to the 'From' section, containing the text 'FROM欄：記入しない'. Below the 'From' section is the 'Contents Description' (品名) field. Further down are five numbered steps: 1. Seal (シールを貼る), 2. Insert (封入), 3. Seal (シールを貼る), 4. Postmark (ポストへ投入), 5. Post (郵便). At the bottom, there is a 'Sender Retention Seal' (ご依頼主様保管用シール) and a barcode. A yellow box with an arrow points to the seal area, containing the text 'シールは剥がさない'. The bottom of the form has the text '特定封筒 LETTER PACK LIGHT レターパックライト'.

【表面】

The image shows the back of a Letter Pack Light envelope. At the top, the recipient's address is written: '2412345T 工学部 神戸太郎'. A yellow box with an arrow points to this address, containing the text '学籍番号、学部名、氏名（フルネーム）を記入'. Below the address is a warning: 'レターパックで現金を送ることはできません。厚さは3cmまでです。'. At the bottom, there is a barcode and the text 'レターパックライト 3cm 4kg'. A yellow box with an arrow points to the barcode area, containing the text 'シールは剥がさない'.

【裏面】